

# 年間授業計画

教科・科目	日本史演習	〔2〕単位	対象学年・組	3年次 自由選択
教科書 副教材	詳説日本史B（山川出版社） 最新日本史図表（第一学習社） 自作教材	教科担任	工藤 威	

学習目標	将来歴史学を学ぶことを目指す生徒、日本史により大学受験を目指す生徒に対し「日本史B」の発展授業として「日本史B」の内容の定着と、さらに詳細な事柄の習得、大学受験に対応できる問題演習に取り組む。
------	--

学期	月	単元	時間	学習内容	学習上の留意点
前期	中間 検査まで	入試問題演習① (古代)	14	私立大学や、国公立大学の過去の入試問題を活用し、日本の原始・古代における重要事項を整理し、確認する。	各大学の問題を解くことにより、日本の古代史の理解度を増進させる。 多様な大学入試に戸惑わないようにする。
	学期 末まで	入試問題演習② (中世・近世)	20	私立大学や、国公立大学の過去の入試問題を活用し、日本の中世史・近世史における重要事項を整理し、確認する。	各大学の問題を解くことにより、日本の中世・近世史の理解度を増進させる。 多様な大学入試に戸惑わないようにする。
後期	中間 検査まで	入試問題演習①	14	私立大学や、国公立大学の過去の入試問題を活用し、日本の近世史・近代史の重要事項を整理し、確認する。	各大学の問題を解くことにより、さらに詳細な近世史・近代史の理解を目指す。 志望大学の問題演習が自らできるようにする。
	学期 末まで	入試問題演習②	12	私立大学や、国公立大学の過去の入試問題を活用し、近現代史をより深く学ぶ。	各大学の問題を解くことにより、より深い近現代史の理解を目指す。 自ら志望大学の問題演習おこない、一般受験に備える。

評価の 観点・方法	参 加：遅刻・欠席や授業態度の状況から評価する。
	活 動：ワークシートや各種課題の提出状況などから評価する。
	定 着：定期考査の得点から評価する。
	その他：